

適 応 機 種

ミラーキャビネット

M-(H/L)751GAE(H/N)

M-(H/L)753GAEH

M-(H/L)601GAE(H/N)

この説明書は、商品を正しく取付・設置していただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。内容を確認しながら、確実に安全な取付・設置をお願いします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取付・設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



この図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

- 取付・設置完了後は、各部の点検や試運転を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書などは、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意（必ずお守りください）



本説明書は、洗面化粧台本体の取付・設置と関連工事(建設工事)である大工工事、管工事（給排水）、電気工事などと区別して説明しています。

建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。

流通業者様（販売店様など）からの発注で本体の「取付・設置」を行う場合は、設工事部分と「洗面化粧台本体取付・設置」を区別して行ってください。

設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事になります。

洗面化粧台の「取付・設置」工事区分



※本説明書では、上記した工事に関する説明部分に **大工工事** **電気工事** などの工事区分を表記しています。

洗面化粧台の工事区分

の箇所が本説明書で主に説明する取付・設置作業です。

※作業名称や作業内容は一例です。実際の工事工程表を確認してください。

	作業名称(区分)	建設業区分				建設業外	作業内容
		大工 工事業	管 工事業	電気 工事業	洗面化粧台 取付・設置		
設置前工事	建築壁の下地工事	○					建築壁へのキャビネット取り付けのための下地工事
	電気配線工事			○			屋内配線と配線器具（コンセント）工事
	排水配管立ち上げ工事		○				所定位置への排水管の立ち上げ工事
	給水・給湯配管立ち上げ工事		○				所定位置への配管の立ち上げ工事
洗面化粧台 本体取付・設置	キャビネット・カウンターなどの取り付け				○		キャビネット・カウンターの組み立てと設置作業
	排水部品の取り付け				○		排水部品の組み立てと所定位置への取付作業
	水栓の取り付け				○		水栓の組み立てと所定位置への取付作業
	商品間のシリコン充てん				○		商品間のすき間を仕上げる処理作業
	完成検査				○		洗面化粧台本体取付・設置後の設置状況確認検査
設置後 工事	ミラーキャビネットおよびオプション機器の電気工事			○			ミラーキャビネット・オプション機器への電源ケーブル・アース線接続工事と検査
	給水・給湯配管と水栓およびオプション機器の接続工事		○				水栓・オプション機器への給水・給湯一次側接続工事と検査
	建築側排水管への接続工事		○				洗面化粧台排水管への建築排水管接続工事と検査

安全上のご注意（必ずお守りください）

警告

- ◎壁面などへの固定が必要な商品は、建築壁の構造を確かめて、この説明書のとおり正しく行ってください。取付・設置を誤ると、使用中に取付ねじがゆるみ、吊戸棚、ミラーキャビネットなどが落下して、ケガをする恐れがあります。
- ◎電気工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。欠陥があると、漏電や火災の恐れがあります。**電気工事**
- ◎電源接続は極性を守って接続してください。
蛍光灯を交換する際に、感電する恐れがあります。
- ◎コンセントは本体の裏面には設置しないでください。
- ◎電源プラグ付コードを切断して不適切な直結接続をしないでください。
- ◎直結接続を行う場合は、必ずこの説明書に記載されている直結配線の方法に従って接続を確実に行ってください。
不適切な接続の場合、火災や漏電の恐れがあります。
- ◎ミラーキャビネットの取付・設置は、必ず保護手袋をしてください。
切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。
- ◎コンセントは、修理技術者以外の人には、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。



注意

- ◎当社商品に使用する材料や接着剤などは、JIS、JASまたは国土交通大臣の認定を受けたF☆☆☆☆の材料を使用しています。下地材、接着剤、塗料などについても、F☆☆☆☆レベルのものをお選びください。ホルムアルデヒド発散量の多い下地材、接着剤、塗料などを使用すると、室内のホルムアルデヒド濃度を高めることになります。**大工工事**
- ◎ミラーキャビネットの建築壁への固定や取り付けの際に、固定ねじや工具で配線を傷つけたり、配線をはさまないように気をつけてください。
- ◎取付・設置完了後は、ミラーキャビネットにガタつきがないか、必ず確認してください。
取り付けに異常があると、使用中に落下し、ケガをする恐れがあります。



安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

洗剤類

◎取付・設置や仕上げ工事に使用する溶剤・接着剤・洗剤、その他の薬品類は、容器に記載の注意表示に従って、正しくご使用ください。

誤った使い方をすると、人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

大工工事

◎酸性、アルカリ性、塩素系の洗剤、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。ミラーキャビネットの変色・変質の恐れがあります。

樹脂部品のトレイは割れる恐れがあります。

◎ミラーキャビネットの清掃の際に、研磨材入りの洗剤・研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）やタワシは使用しないでください。すり傷、ひっかき傷がつく恐れがあります。



その他取付・設置上のお願いについて

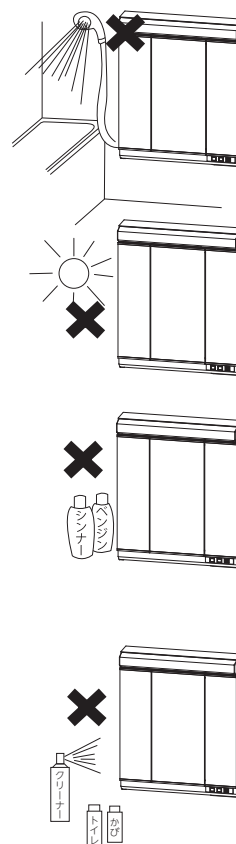
●ミラーキャビネットを浴室^{ろうでん}内へ設置しないでください。
漏電や、ケガ、器具を破損する恐れがあります。

●直射日光の当たる場所や、火気の近くに設置しないでください。
色あせたりキャビネットが傷んだり、商品の寿命を縮める原因になります。

●ミラーキャビネットの掃除に、クレンザーやタワシを使わないでください。
表面に傷がつき、光沢が失われる原因になります。

●殺虫剤、塩素系の洗剤、シンナー、ベンジンは使用しないでください。
ミラーキャビネットの変色・変質の恐れがあります。

●鏡に洗剤（ガラスクリーナーを含む）、洗浄剤を直接ふりかけしないでください。鏡とミラーキャビネット本体の間に侵入し、鏡の銀が腐食、変色、変質する恐れがあります。



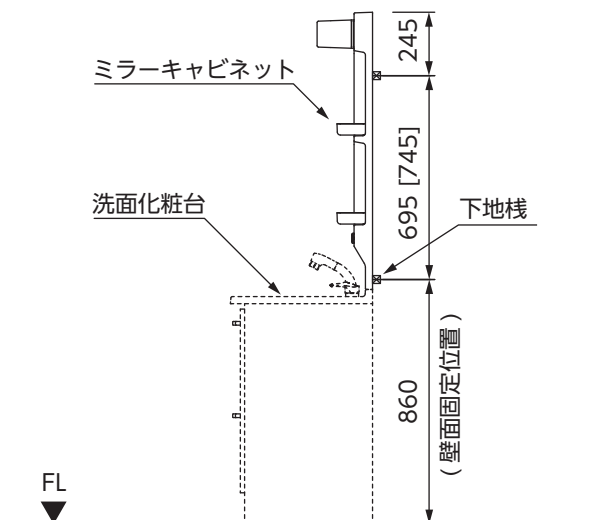
付属部品表

●開梱後、下表の付属品が揃っているかどうかご確認ください。

機種	部品	壁固定ねじ φ4.5×50	ジョイント キャップ	クッション テープ	棚トレー	電球形 LEDランプ	照明カバー	取扱説明書 取付・設置説明書
M-(H/L)753GAEH					6			
M-(H/L)751GAE(H/N)		4	4	1	4	2	2	各 1
M-(H/L)601GAE(H/N)								

建築壁の確認

- 建築壁の下図の示す位置に、強固な下地棧が設けられているか確認してください。
下地棧は、厚さ 30 mm以上の硬木を使用してください。
- 建築壁の表面は平らに仕上げてください。壁面に凸凹があると仕上げに支障が生じます。凸凹がある場合は、壁面にスペーサーをするなどして事前の補修を行ってください。



※ [] 内寸法は、ミラーキャビネット高さ1025mmの場合。

壁固定ねじについて

- 同梱の壁固定ねじは、木質壁に使用するためのものです。
- 建築壁の構造によっては、同梱のねじが使用できません。
その場合は、下記の「建築壁への取り付け」を参照して、十分な強度を保つようねじを選んで取付・設置してください。

建築壁への取り付け

- ◎複数の下穴をすべてねじで埋めるよう、ねじを残さず使用してください。
ねじの使用数が少ないと、長期的にキャビネットの落下をまねく恐れがあります。

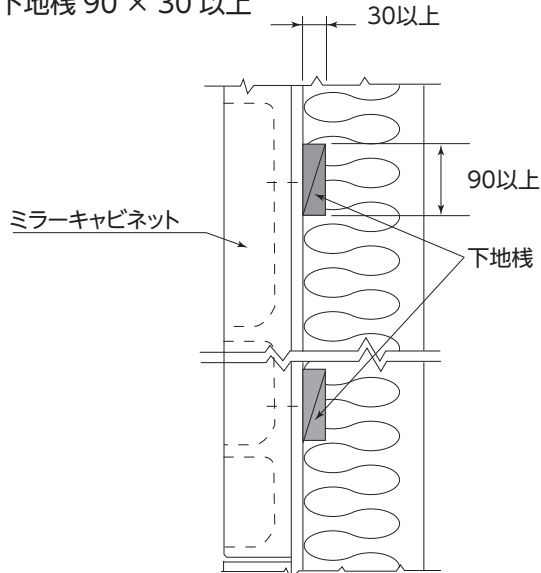


- ◎下図は、建築壁の種類による標準的な固定方法の例を示しています。
種類に応じ、十分な強度を保つよう取付・設置してください。



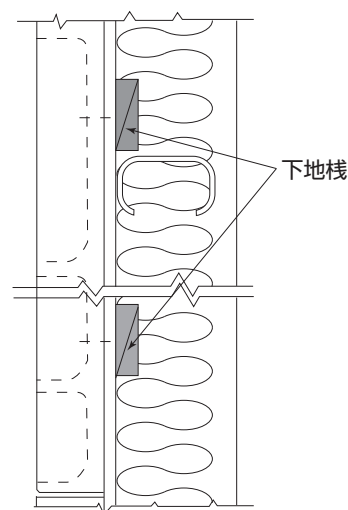
木質壁

下地桟 90 × 30 以上



軽量鉄骨壁

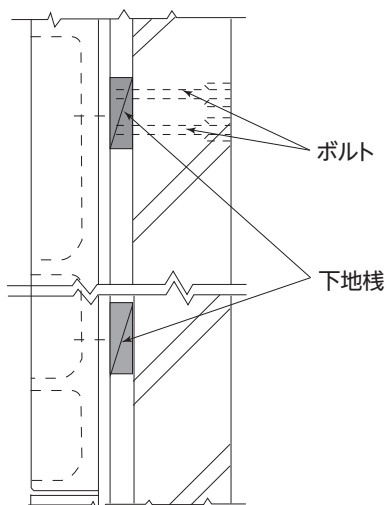
下地桟 90 × 30 以上



ALC 壁

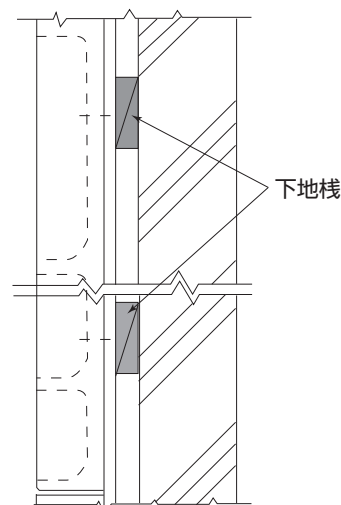
下地桟 90 × 30 以上

ボルトφ9@600乱取り付け



RC 壁

下地桟 90 × 30 以上



取付・設置

1 下準備と確認

◎取付・設置時は、必ず電源ブレーカーを「切」の状態^{ろうでん}で取付・設置してください。漏電や、ケガ、器具を破損する恐れがあります。

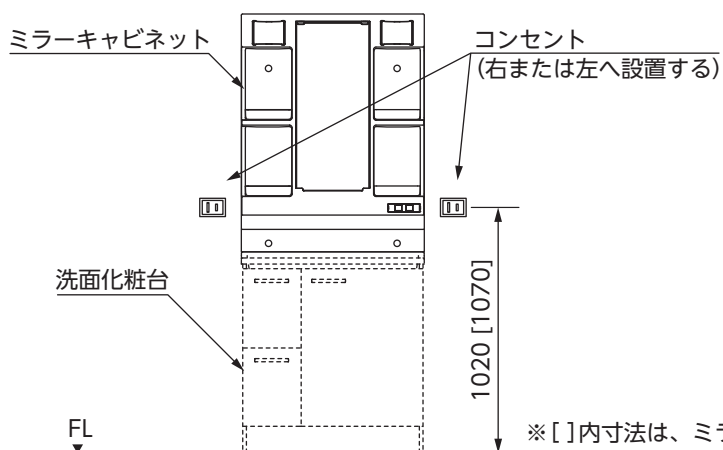
取付・設置後に電源ブレーカーを入れてください。

●下地枠が P.5 の「建築壁の確認」の示す位置に設けられているか、確認してください。

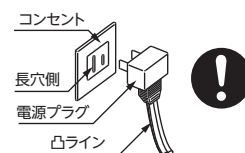
電源プラグの場合

◎ミラーキャビネット用コンセントは、ミラーキャビネットの右または左横付近に設置してください。【電気工事】

トールキャビネット、サイドキャビネットを取り付ける場合は、コンセントがトールキャビネット、サイドキャビネットに重ならない位置に設置してください。



電源プラグの差し込み方向によっては、コンセントの極性が逆になります。電源コードに凸ラインが入っている側を、コンセントの長穴側(アース側)に接続してください。

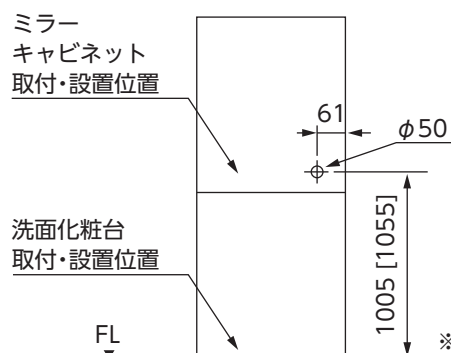


※[]内寸法は、ミラーキャビネット高さ1025mmの場合。

直結配線にする場合

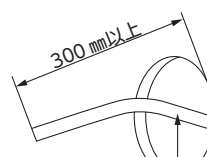
【電気工事】

◎洗面化粧台、ミラーキャビネットを取付・設置する前に、あらかじめ電気工事業者様に依頼して、下記の所定位置から電源線 (VVF(単線)、 ϕ 1.6 mmまたは ϕ 2.0 mm) を取り出しておいてください。



※[]内寸法は、ミラーキャビネット高さ1025mmの場合。

◎電源線を取り出すときは、バリ取りを行った約 ϕ 50 mmの穴より 300 mm以上取り出してください。端部のバリがあると、電源線を傷つけ、火災・感電の恐れがあります。



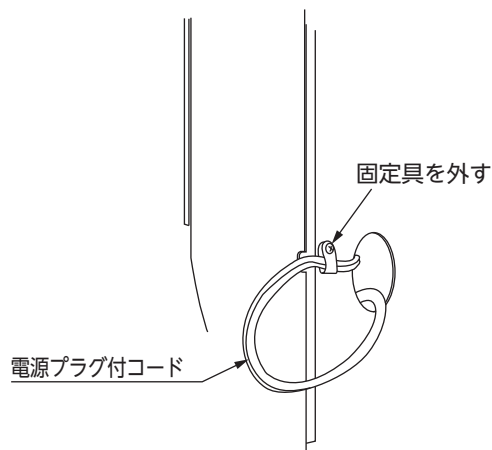
電源線 [VVF(単線)、 ϕ 1.6 mmまたは ϕ 2.0 mm] バリ取り

取付・設置

① 下準備と確認 (つづき)

直結配線にする場合

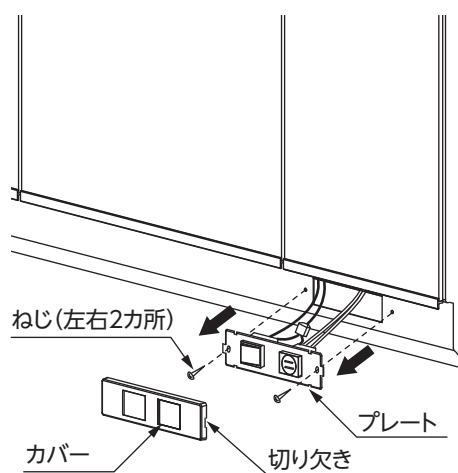
(1)ミラーキャビネットの裏側の固定具を外します。



(2)スイッチコンセントのカバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで取り外します。

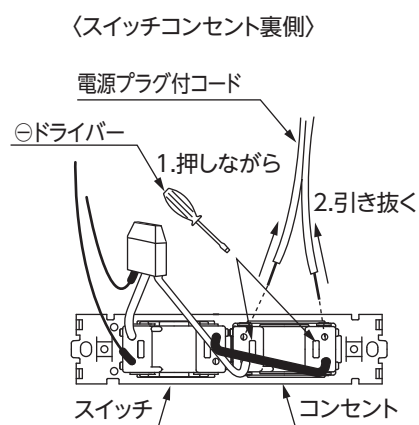
ねじを外し、スイッチコンセントのプレートを右図のように外します。

※外したねじは、なくさないように注意してください。プレートの穴にねじを入れ、カバーをプレートにはめ込んでおくとなくしにくいです。

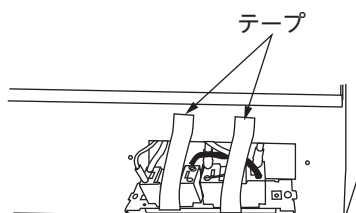


(3)コンセント裏の解除ボタンを⊖ドライバーで押しなが、電源プラグ付コードを引き抜いて取り外します。

※他のコードを引っ張らないように注意してください。



(4)スイッチコンセントをテープ (マスキングテープなど) で仮止めします。



取付・設置

② ミラーキャビネットの取り付け

◎取付・設置時は、必ず電源ブレーカーを「切」の状態にして取付・設置してください。漏電や、^{ろうでん}ケガ、器具を破損する恐れがあります。

取付・設置後に電源ブレーカーを入れてください。

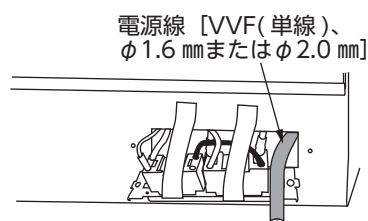
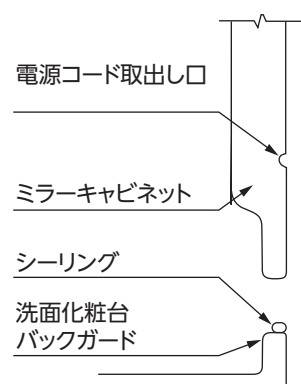
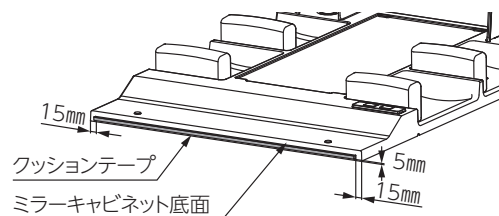
- (1)クッションテープの両面テープのはくり紙をはがし、右図を参考にミラーキャビネットの底面に貼り付けてください。
- (2)洗面化粧台バックガード上面の建築壁側にシーリング材（現地調達）を載せてください。
- (3)ミラーキャビネットを洗面化粧台のバックガードに載せて位置決めをしてください。

電源プラグの場合

ミラーキャビネットを載せる際に、ミラーキャビネットの側面の電源コード取出し口（切り欠き部）から電源プラグ付コードを出してください。

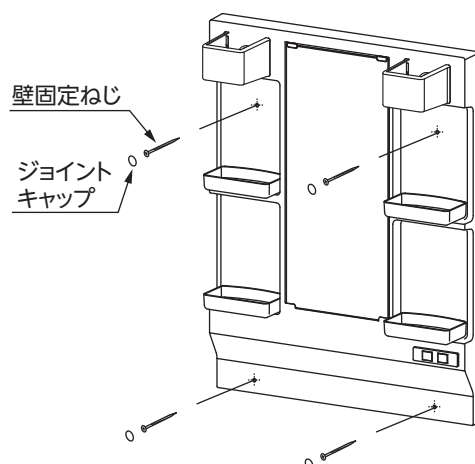
直結配線にする場合

ミラーキャビネットを載せる際に、壁から出ている電源線を右図のように引き出してください。

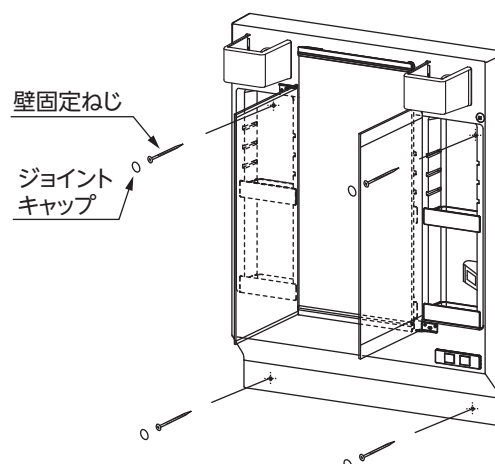


- (4)ミラーキャビネットを付属のねじで、壁面の下地材に固定します。
（三面鏡は、左右ともにミラー扉を開けると固定用の下穴があります。）

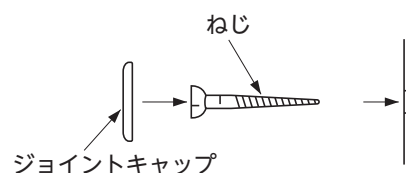
<一面鏡>



<三面鏡>



- (5)ねじの頭に同梱のジョイントキャップをかぶせます。



取付・設置

② ミラーキャビネットの取り付け (つづき)

直結配線にする場合

電気工事

◎電源を配線するときは、電気工事店に必ずご依頼ください。電気工事は、法的資格を有する者が行う工事範囲です。法令・規定に従って、「法的有資格者」が行ってください。欠陥がありますと、漏電・火災の恐れがあります。

(1)電源線[VVF(単線)、 ϕ 1.6 mmまたは ϕ 2.0 mm]の電線被覆をむく長さはコンセントのストリップゲージに合わせてください。

電気工事

(2)仮止めしていたテープを外し、右図のようにコンセント裏の電源線差込口に電源線を差し込みます。

電気工事

(3)結束バンドを右図のように他のコードの下をくぐらせて、電源線の外皮をむいた部分をまとめます。

電気工事

◎電源線や結束バンドで、他のコードに圧力が掛からないように注意してください。

◎電源線に余裕を持たせてからまとめてください。

(4)結束バンドを締めて固定します。

電気工事

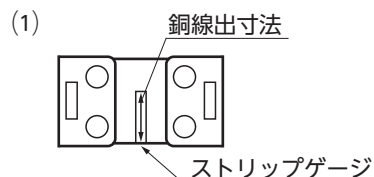
◎結束バンドで締めて固定する前に、電源線の長さを確認してください。長すぎる場合は、コンセント裏の電源線差込口から取り外し、切断してから再度取り付けてください。

◎固定後、電源線を引っ張り、コネクタ部に力が加わったり、電源線が抜けたりしないことを必ず確認してください。

(5)配線をミラーキャビネットの中に納め、コンセントを元の位置に取り付けます。

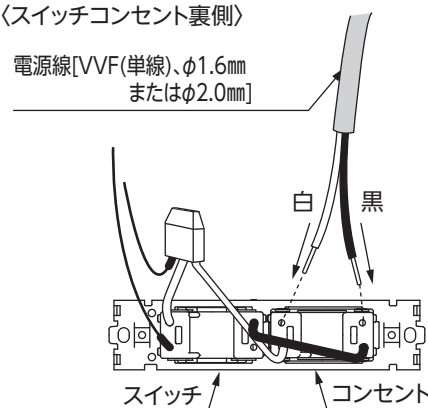
電気工事

◎コードを納める際に、からまったり引っ掛かったりしないように注意してください。



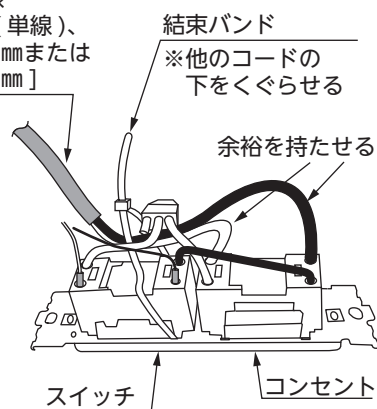
(2) 〈スイッチコンセント裏側〉

電源線[VVF(単線)、 ϕ 1.6 mmまたは ϕ 2.0 mm]

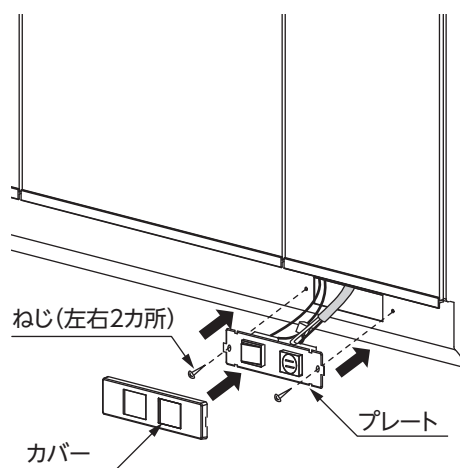


(3)(4)

電源線
[VVF(単線)、 ϕ 1.6 mmまたは ϕ 2.0 mm]



(5)



取付・設置

② ミラーキャビネットの取り付け (つづき)

●照明の取り付け

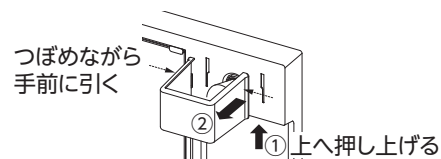
電球形 LED ランプを取り付けてから、照明カバーを取り付けます。

●照明カバーの脱着のしかた

①右図のように、照明カバーを上へ押し上げます。

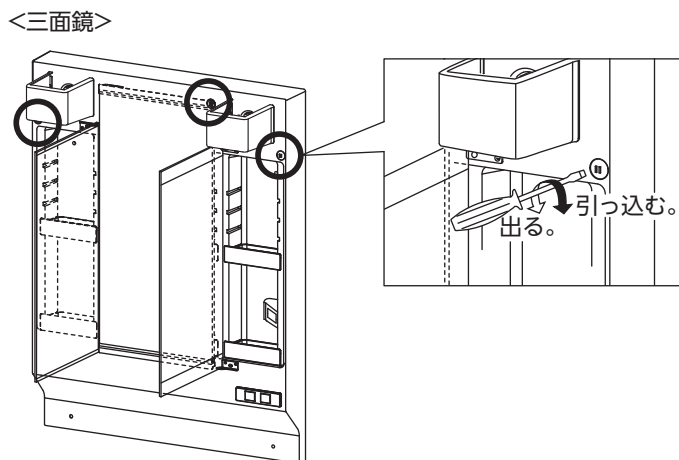
②つぼめながら手前に引くと取り外せます。

※取り付けは、逆の手順で取り付けられます。



③ 鏡の調整のしかた (三面鏡のみ)

鏡の前後がズれている場合は、下図のマグネット部を調整してください。



④ 取付・設置後の確認・点検

●取付・設置完了後、以下の確認・点検を必ず行ってください。

- ミラーキャビネットにガタつきがないか、確認してください。
- スイッチを入れ、照明・くもり止めヒーターが作動するか、確認してください。
- ミラー扉がスムーズに開閉するか、確認してください。
- 各部の点検終了後、清掃を行ってください。

工事後の整理など

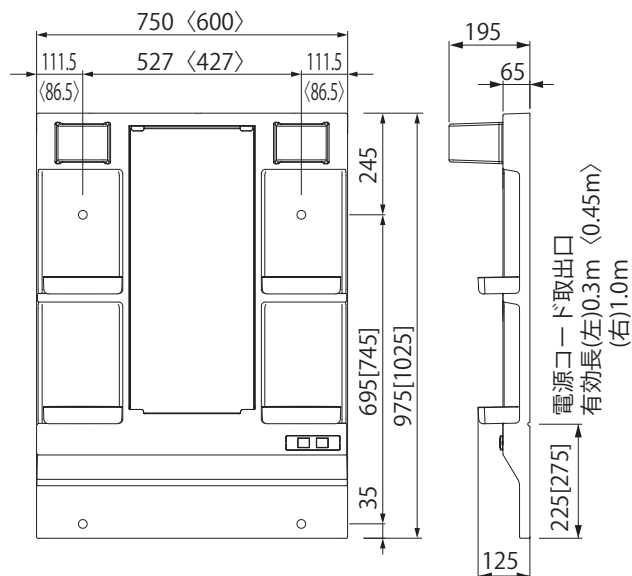
- 工事終了後も、商品にはカバーをするなどして保護してください。
- 不要なダンボールや廃材は、持ち帰ってください。
- 火気や薬品類の始末には、特に気をつけてください。

廃棄処分について

- 不要部材を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

寸法図

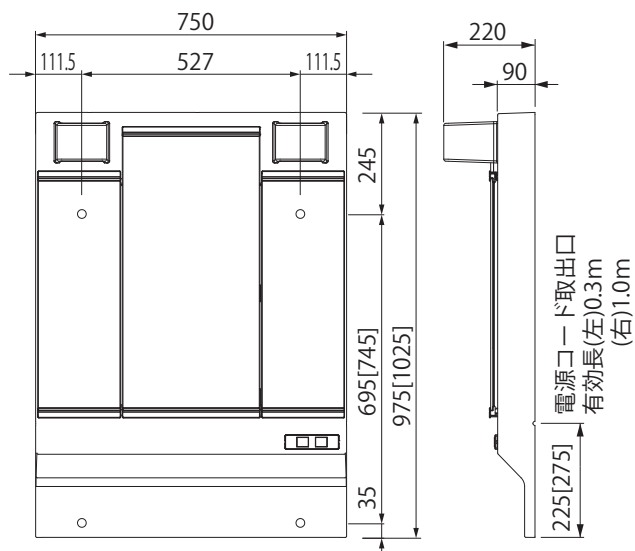
■M-(H/L)751GAE(H/N)、M-(H/L)601GAE(H/N)



※< >寸法は、M-(H/L)601GAE(H/N)を表す。

※[]寸法は、高さ1025mmの場合を表す。

■M-(H/L)753GAEH



※[]寸法は、高さ1025mmの場合を表す。

取付・設置にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの
販売店または当社支店・営業所までご連絡ください。

クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22